

GFL

群馬大学では「自国および他国の文化・歴史・伝統を理解し、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国内外において地球的視野を持って主体的に活動できる人」であるグローバルフロンティアリーダーの育成に力を入れています。特に理工学部では、国内外の企業・研究機関の研究開発・研究職において、独創的リーダーとして研究を展開し、活躍できる人材の育成を目的に、医学部と連携して、平成25年度より医理工GFLコースを実施しています。理工学部からは16名程度を選抜し、外国人研究者等との交流の機会を作るなど国際コミュニケーション能力を育成するとともに、早期大学院進学に向けて、早くから先端研究に接する機会を用意します。

また、平成27年度からは教育学部と社会情報学部が連携する教育・社情GFLコースも実施しており、医理工GFLコースとも連携しながら各プログラムに取り組みます。

医理工GFLコース

(医理工グローバルフロンティアリーダー(GFL)育成コース)

注:このプログラムは、平成24年度まで文部科学省委託事業「理数学生応援プロジェクト」として実施していた「工学系フロンティアリーダーコース(FLC)」を発展させたものとなります。

推薦入試・一般入試

選抜

グローバルリーダーストリーム

トップリーダー講演会

各界で活躍されているリーダーをお招きし、リーダーに求められる素養、技術、心構えなどをご講演いただきます。

グローバル交流セミナー・サマーセミナー

外国人留学生・博士学生を招いて、専門英語による研究紹介を聴いたり、外国人留学生と英語で交流したりなど、英語スキル・英会話コミュニケーション力を養います。また、合宿研修形式で行うことにより、外国人留学生だけではなく、GFL生同士の交流も深めることができます。

外国人教員による特別プログラム

各種特別プログラムを受講して、英語スキル・英会話コミュニケーション力などの語学力を強化し、さらに幅広い国際的視野を養います。将来的には、ネイティブスピーカーとの会話なども支障なく行えるように取り組みます。

先端研究ストリーム

企業訪問&先輩ゼミ

理数系の先輩が活躍している企業・研究機関などを訪問します。施設・設備などの見学や現場で活躍する先輩方との交流を通して、医学・理工学分野における最先端の研究に関する講演を受け、自分たちの将来のイメージを掴む機会とします。

先端研究紹介講座

学内外の講師による講演会を通して、先端研究に触れるとともに、研究テーマへの取り組み姿勢を養います。

先端研究学際講演会

医学部生は理工学部の、理工学部生は医学部の学内教員より、専門分野の先端研究に関する講演を受けます。これにより、双方の分野について理解を深めます。

研究テーマプロポーザル講座

前期に所属学科の研究室を訪問し、それぞれの教員や大学院生から研究内容などの説明を受けて、研究室を選択します。後期からは、その研究室で活動を開始し、研究テーマについて考察します。年度末には「研究テーマプロポーザル講座発表会」においてその成果を発表します。

1年

2年

3年
(4年)

早期研究開始(研究室への配属)

標準的なカリキュラムでは4年生で研究室配属となりますが、3年生から研究室に所属して研究に取り組むことができます。3年生は年度末に行われる「先端研究キックオフ発表会」において、その研究の成果を発表します。

早期の大学院進学
飛び級、飛び推薦、早期卒業

通常の大学院進学

博士前期(修士)課程・博士後期(博士)課程

グローバルフロンティアリーダー

これにより大学入学から博士前期(修士)課程修了までの6年間の課程を1年間短縮することができます。制度の詳細は学科により異なります。

VOICES 実感! GFLの学び

“やる気”の使い道

電子情報理工学科4年 ※学科名は入学時のものです
松原 信忠 (岐阜県立岐山高等学校出身)



GFLは留学や早期配属など様々な機会に恵まれています。また、勉学という形で他分野の学生と交流でき、彼らと自主活動を行えるのも貴重な機会の一つです。

私は自主活動として、モデルロケット、ETロボコン、ITカンファレンスの運営等を行いました。どれも自分たちだけで行うには大変な活動です。しかし、GFLには支援してくれるシステムがあり、知恵を貸してくれる教職員がおり、協力してくれる仲間がいます。それらのおかげで、大変でもやりきることができ、良い経験になりました。

GFLは機会に恵まれています。機会を自ら動いてこそ、その恩恵を最大限得ることが出来ます。もし、行き場のない“やる気”を持っているのなら、群馬大学に来てGFLに入り、ここで使ってみてはどうでしょうか。

一步先へ

化学・生物化学科3年 ※学科名は入学時のものです
柳 瑤美 (群馬県立沼田女子高等学校出身)



私は自分に自信を持つべく、大学では様々なことに挑戦し自分の強みを見つけたいと考えていました。そんな時、早期研究室配属や特別講義など多くのことに挑戦できるGFLの存在を知り、まさに今自分が求めているものだと感じて参加を希望しました。

実際には、研究活動を通して専門知識や自ら疑問を持ち学習する習慣が身に付きました。また、留学や海外研究者等との交流に積極的に取り組むことで視野が広がるとともに、英語への抵抗もなくなりコミュニケーション力が向上しました。さらに、GFL行事のリーダーを務めることにより企画運営能力を養うことができました。

GFLはやる気のある学生がステップアップできる多くの機会を与えてくれます。一步先に進みたい人は、ぜひ挑戦してみてください。